

石川県鍼灸師会報 '15.3 第2号

いしかわけんしんきゅうしかいほう 公益社団法人石川県鍼灸師会



写真：平成 26 年度 石川県鍼灸師会臨時総会

〈 目次 〉

1. 臨時総会
 2. 第 10 回全国大会
 3. リスクマネジメント研修会
 4. その他の学術講習会
 5. 会員の活動
 - 前山先生
 - 長町先生
 6. 忘年会
 7. 親睦会
 8. 金沢マラソンボランティアのお願い
 9. 図書紹介
- あとがき

1. 臨時総会

公益社団法人 石川県鍼灸師会

平成 26 年度 臨時総会 議事録

日時 平成 27 年 2 月 22 日 (日)
午後 1 時 30 分から午後 2 時 30 分
場所 石川県地場産業振興センター
新館 5 階 13 研修室

議案

第 1 号議案. 平成 27 年度事業計画 (案)
第 2 号議案. 平成 27 年予算 (案)
第 3 号議案. その他

会員総数	58 名
出席者	21 名
委任状出席	33 名

司会者が、平成 26 年度臨時総会の開催を宣言し、会長挨拶の後、議長に橋本昌治会員を指名し、議事に入った。

議長が、定足数の確認を行い、定款 18 条により総会の成立を宣言し、議事録作成人に中村総務部長、議事録署名人に上野晃一会員・山下達司会員を指名し議事に入った。

議長：第 1 号議案平成 27 年度事業計画 (案) について、なお質疑については 1 号、2 号議案終了後にお願いいたします。それでは担当の理事の方お願いいたします。

担当理事が各事業計画案について資料通り説明を行った。

議長：第 2 号議案平成 27 年度予算 (案) をお願いします。

財務部長が詳細に予算案を説明した。

議長：それでは第 1 号議案、第 2 号議案に

ついてまとめて質疑応答を行います。質問者は挙手をお願いします。

永原：リスクマネジメント講習会を行いました。支払いの中で 1 万円というのがありました。これはこういった意味がありますか。

定池：日本鍼灸師会専門領域研修会リスクマネジメント研修会の登録料です。研修会終了後、認定書とプレートが送られてきます。日本鍼灸師会のホームページの中にリスクマネジメント修了者として掲載されます。

永原：単位の不足者にはこういったことを考えておられますか。

定池：単位の不足者には補講を考えております。十分な単位を考慮して計画を建ててありますので、オーバーする人が殆どになると思います。

議長：その他ございますか。それでは、私から聞いてもよろしいでしょうか。組織の ISIS の卒業式についてですが毎年さんかされておりますね。卒業生はこういった進路をたどっておりますか。

定池：ISIS の卒業生のほとんどが鍼灸マッサージ師会にいらしております。講師が鍼灸マッサージ師会の中田先生や宮川先生でいらしております。企業説明会に ISIS に行っておりますが、どうしても会費の安いという方向で動いているのかなと思います。卒業生を雇いたいという先生がおられれば、ISIS にすぐに求人広告を出せます。8 月に企業説明会がありますが、パンフレットを持って行っても誰も見てないようです。会費の問題なのか、私の説明不足なのかわかりません。

卒業式や入学式には参加しておりません。日本鍼灸師会では第 2 回目の卒業後研修会を行います。その内容をアピールしてきたいと思っております。日本鍼灸師会、全日本鍼灸学会、東洋学校財団の方に入っている学生では 2 万円でいけるという内容です。それ以外では 5 万円かかります。鍼灸師会に入会すれば、半額以下でいけるということを話してきたいと思っております。

議長：1 号議案、2 号議案について他にありませんか。

定 池：補足です。保険部ですが、公益事業 3 という形で療養費適正委員会の交通費の予算を上げてあります。広報普及の県民公開講座について、7 月は決まっておりますが、9 月にも予定しております。講師をどうするか、どういう風に県民にアピールしたら良いのかなどの案を下さい。それから無料相談会をその時にやりたいと思っております。今年公益事業の普及活動にないもので不思議に思われたかも知れませんが、七尾湾岸トライアスロン大会は第 10 回で終了いたしました。スポーツのイベントで鍼灸師会が参加しませんかということがあれば、会の方に連絡して欲しいと思っております。こちらの方で検討いたしますのでよろしくお願い致します。

議長：ありがとうございます。他に質問がないようであれば、第 1 号議案、第 2 号議案の承認を拍手でお願いいたします。

一拍手多数一

議長：ありがとうございます。それでは第 3 号議案 その他の件です。提案ございませんか。

菅 沢：我々も高齢化が進んでおりまして、

その上で訃報などにおける鍼灸師会の連絡網についてどのようになっていますか。新聞で確認してはおりますが、どうしても見落としがあったりします。柔道整復師会では、FAX が流れるというようになっておりますが、鍼灸師会でも検討して頂けたらと思っております。

定 池：ありがとうございます。良い提案です。連絡網は大切なので、作りたいたと思っております。総務を介して全員に連絡が回るように作りたいたと思っております。FAX やメールなどを使って連絡をしたいと思っております。会員の皆様の携帯などのメールアドレスを教えて頂ければ登録をすることができます。これからの課題にしたいと思っております。

寺 本：高齢化して退会をする方もいます。退会したからといって、そのまま放っておかないで、例えば 40 年会員を続けて会には 100 万以上を払っているならば、その人の香典を出すことや、会報を送って差し上げても良いのではないかとと思っております。

定 池：その件に関しては定款を変えなければいけなくなります。名誉会員をおくという形や、80 歳を越えた場合は退会しなくても名誉会員とするなどの形もあります。これは定款を変えなくてはいけなくなりますが、そういう内容についてはおいおい考えていきたいと思っております。来年度に新しい理事になった時に理事会で考えていきたいと思っております。

議長：他にございますか。

永 原：会員名簿は本年度できませんか。

定 池：日本鍼灸師会が出している会員名簿があります。個人情報となってきました。名前、住所、電話番号だけのものを作れと言われるのであれば、作

ります。けれども、載せたくない、省いて欲しいというような会員も出てくると思います。皆さんから了解を得られれば名簿は出すことができると思います。名簿の件については考えさせて下さい。

議長：他にありませんか。無いようであれば、議案を終了いたします。議長の任を解かせていただきます。

司会：閉会の辞を監事の前山先生お願いい

たします。

前山：それでは臨時総会を終了いたします。

2. 第 10 回日本鍼灸師会全国大会 in 岐阜

シンポジウム講演

公益社団法人 石川県鍼灸師会
会長 定池 寿

今回、「鍼灸師法の課題」という課題で、シンポジストに指名されましたが、正直、私で良いのかと考えております。

鍼灸師法について、真剣に考えたこともなく、全国大会で鍼灸師法のシンポジウムにも参加したことはありません。

ただ、大学を卒業してから感じていたことや、鍼灸師会に入会してから色々な経験をさせていただき、考えていたことを述べたいと思います。

「鍼灸師法」「マッサージ師法」について。

「鍼灸師法」は、日本鍼灸師会発足以来の課題と認識しております。しかし、「鍼灸師法」だけを考えていては、「鍼灸師法」の確率は難しいと考えます。「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師に関する法律」と三療が一つの法律です。三療と呼ばれているが上に、石川県では解散問題が平成 11 年におこりました。解散理由の一つが資格は一緒という事でした。しかし、総会で解散は否決されまし

た。現在の法律の中では、正しかったかわかりません。石川県の問題から、鍼灸師法が必要と考えます。「はり師法」「きゅう師法」「あん摩マッサージ指圧師法」と三つの法律に分けることもあるのかと思います。

「あん摩マッサージ指圧師法」を考えるにあたり、現在、カイロ・整体・エステ・足つぼ療法等マッサージを主とした生業が増えてきています。本来、マッサージ師の資格必要な生業です。しかし、少しの研修で資格と称して、世間に認められている状態です。ここに、メスを入れるには「あん摩マッサージ指圧師法」を確立して、カイロ・整体・エステ等を入れるべきと考えております。エステ業界は、国家資格に向けて動いていることも事実です。

次に、大学 6 年生、専門学校 4 年生の問題です。

大学在学中に「はり師」「きゅう師」の免許を頂き、卒業してから、厚生大臣免許になりました。私は、開業しており鍼灸師会にも入会しておりましたが、「厚生大臣指定講習会」を受けなければならないといわれ、愕然としたことを覚えています。当時は、知事免許でしたから仕方がないのですが、大学の 4 年間

の取得単位は意味のない事だったのかと思いました。現在は、厚生労働大臣免許です。専門学校・大学を卒業しても資格が同一という事は、おかしいのではないかと思います。

鍼灸師ではなく、鍼灸医師という資格が必要と考えます。

医師法では、鍼灸医は認められていません。鍼灸医といえるような資格が必要と思います。そのためには、大学は6年間が必要と思います。漢方薬の処方ができる鍼灸医、保険取扱いが出来る鍼灸医が必要と思います。

専門学校は、3年間国家資格のためのだけの教育を受け単位を取得し、国家試験を受ける。大学と専門学校では取得単位数が違います。

特に、新設の専門学校は国家試験の合格率だけをうたい、資格試験の勉強だけを行っている状態だと思います。また、専門学校によっては、午前の授業しかないところもあると聞いております。夜間部においても十分なカリキュラムではないようです。しかし、資格試験の条件がそろっていれば受験可能です。

専門学校も、4年間で資格をとり、卒後教育の中で、保険取扱い鍼灸師を目指すという事ステップが大事ではないかと思います。

鍼灸医と鍼灸師と資格の違いが必要とかがええます。

課題としては、統一カリキュラムができないという事です。

鍼灸は、診断方法においても中医学的・経絡的・西洋医学的と色々な分野があり、どれをとっても良い結果が得られるという、ある意味特殊な医療ではないでしょうか。それが故に、統一カリキュラムが難しく、医療として参入することができないのではないかと感じます。

現在大学卒業生が明治国際医療大学の卒業生だけでも3000名を超えています。鍼灸学士・鍼灸博士も増えてきています。大学も色々と考えている時期です。今後改革が行わ

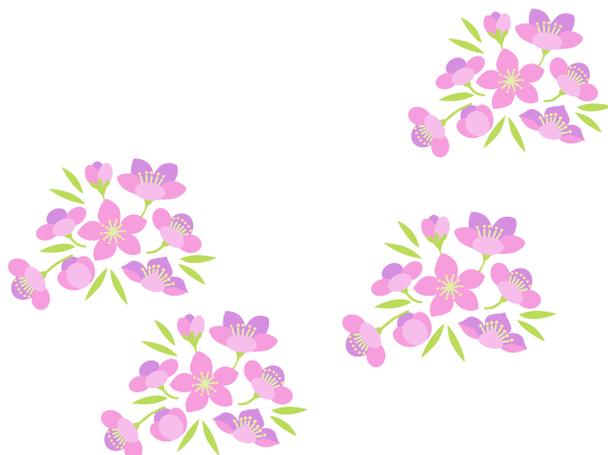
れるのは目に見えて明らかではないでしょうか。鍼灸大学の集まりが出来ているという事も事実として知っておく必要があります。

鍼灸師法確立のためには、有識者会議が必要と考えます。日本鍼灸師会の専門委員会が立ち上がりました。専門委員会と医療推進会議とで統一見解を提出して頂き、結論付けることは必要と思います。しかし、法律の改正にはやはり、有識者会議を作っていただき、答申を作成し、政府に提出し「鍼灸師法」「あん摩マッサージ指圧師法」の法律の改正をする時期ではないかと考えます。

最後に、医療類似行為について、先輩である現在順天堂大学医学部医史学研究室の清野充典先生が、平成25年26年の2回にわたり、「医療類似行為について」の論文を「日本医史学雑誌」に掲載しています。

結論として「医療類似行為」は、現在の日本において存在していない。と言われております。

鍼灸師は医療従事者あり、医療行為をしているという自覚を持つことが大切だと思います。



【体験記】

福島はり灸院 福島 進

介護予防運動指導員のスキルアップ講座の一環として、老年症候群対策 基礎講座 急速に進む高齢社会の課題と解決策、教育講演 高齢者の虚弱と疾病の予防に出席させていただきました

来年度より始まる医療改革により、入院期間の変更・在宅への移行が加速するとの事。

地域包括ケアシステムの整備により鍼師・灸師が明記され、地域ケア会議に参加する重要性がわかりました。介護予防指導員の活動を活かし、このことを足がかりにしていきたいと思います。

今、地域ケア会議に参加しなければまた介護保険の枠組みに入れず、機能訓練指導員もなれず、我々の後輩になる学生たちの就職の幅も狭きものになってしまいます。何とか介護保険の中に 鍼灸師が参加できるように活動していくように心がけていきたいと思いません。

【体験記】

金沢医療技術学校 鍼灸科 2 年 福島 弘美

私は今、鍼灸学校の 2 年生で昨年と比べ少しだけ余裕が出来ましたので学生の中に経験できることはしておきたいと思い参加しました。

初日「小児鍼」「産科婦人科疾患」を聞き、翌日「美容鍼灸」を聞きました。

「小児鍼」はスキンタッチを交えての実技もあり、幼少期から鍼灸を身近に感じてもらうのに良い試みだと思いました。

「産科婦人科疾患」では、不妊について医療機関との連携、妊娠に至るまでの生理的作用、医学的知識の学習が必須であると説いていました。そして、鍼灸師のモラルを問いたいという最後の熱弁がとても印象的でした。

「美容鍼灸」については、内出血についての話から集客に関しての話と幅広い内容で実技もありましたが、後ろの席だったのでよく見えなかったのが残念です。

台風が接近していたためその後の公演を諦め家路に向かいましたが、どの講演も女性と深く関わる演題と立ち見になるほどの大盛況で大変興味深く

聴講することができました。

出席して良かったです！



全国大会スキンタッチ講座

3. リスクマネジメント研修会

10 月 26 日 (日)

松田はりきゅう治療院 松田 朗

10 月 26 日 (日)、金沢勤労者プラザにて鍼灸医療リスクマネジメント研修会が行われました。

今回は、午前の部では、杉原整形外科クリニック院長の杉原 信先生により「整形外科領域におけるリスクマネジメント」の講義がありました。

衛生面では勿論気を付けなければいけません、これから起こりうる危機への対策を考える上で、有害事象を学ぶことの重要性を訴えておられました。悪性の腫瘍も、非常に珍しいケースではありますが、ゼロではないこと、関節付近を施術するときには、関節内に細菌を入れないことなど、整形外科の先生ならではの講義でした。

午後の部では、明治国際医療大学教授の江川雅人先生により「感染防止・医療事故の防止・有害事象などの対策について」の講義がありました。

大学付属鍼灸センター内でのインシデント(重大事故に至る可能性のある潜在的事例)のデータを包み隠さずに報告しながらの講義には敬意を表しました。

その中で注目した点は、鍼の抜き忘れが多い事です。特に、百会穴等の頭髪部位や、衣服などで確認し難い部位への置鍼には特に注意をしなければならず、刺した本数や位置の確認は必要な事だと感じました。例えば、紙に簡単な人体図を描き、その図に刺した本数を書き表す事も対策になるのかと思います。

危険は、「このぐらいは・・・」といった所に潜んでいる事を忘れずに臨床に励む必要があると感じました。

11 月 30 日 (日)

さかした針灸接骨院 坂下 竜彦

当日の研修会は、金沢勤労者プラザで行われ第 1 部「鍼灸師が知っておきたい脳疾患の鑑別」、第 2 部は「薬と薬の飲み合わせ、薬と食品・サプリメントとの服用など正しい服用の基礎知識を学ぼう」。尚、講師は金沢脳神経外科病院副院長山本 信孝先生と同病院薬剤師の熊橋 裕人先生でした。

第 1 部の研修会内容は、脳卒中・頭痛の診断・治療・原因・予防についてで、脳卒中の原因は、高血圧と加齢が多く生活習慣の改善が必要だということ、診断では A C T - F A S T (急いで行動せよ) が最も大事。

F A S T の F は F a c e (顔の麻痺)、A は A r m (腕の麻痺)、S は S p e e c h (ことばの障害)、T は T i m e (発症時刻) を意味し、この部位のどこかに症状が出た場合は 70% 脳卒中の疑いがあると説明した。



熊橋 先生

第 2 部の研修会では、まず薬は「奇すし」が語源で、不思議な事・珍しい事が起きる事の意味だという事から始まり、薬の飲み合わせが悪いと死に至る事もあるとソリブジン薬害事件を紹介。この事件で 1 年間に 15 人が亡くなった。又、薬を飲むときはコップ 1 杯の水が理想であり、グレープフルーツジュースは薬の効果が発揮されないと説明。(オレンジ

ジュースは大丈夫)

次に、サプリメントは比較的入手しやすいが、物によっては薬と合わなかったり、手術前に麻痺に影響がある為に服用を中止させる例もあるとの事。

最後にジェネリック医薬品と新薬との違いを説明頂き、研修会が終了した。中国には「病は口より入り、禍は口より出ず」という諺があるが、生活習慣にしる薬やサプリにしる、やはり普段の自己管理及び飲食の重要性を再認識する講習内容だった。

12 月 14 日 (日)

桃夭クリニック 西田裕明

『リスク』の意味は何となく危険、危機と解釈していました。この言葉を調べてみたところ、『積極的な行動の結果、危険状態に陥る、もしくは予想以上の成果を得る可能性』、簡略すると『予測とのぶれ』とありました。今回の研修も患者さんを楽にしてあげたい積極的な行動への妨げにならないための再認識、再確認となりました。

鍼灸治療での危険ゾーンは学生の頃から頭に叩き込まれていますが、鍼灸治療で実際に起こった事故例の画像や症例を目の当たりにすることは身が引き締まりますし、初心に戻り自分自身への戒めとなります。

その他のお話では鍼灸医療の質の向上が患者さんへの安心安全に繋がり信頼を得る、初診の方への接し方、患者さんの姿勢などのお話をいただき、実技では部位による使用鍼、刺入深度、刺入方向をととても分かりやすく教えていただきました。リスクマネジメント専門領域研修会に参加して良かったと実感しています。小松秀人先生、ありがとうございます。



小松 先生

1 月 18 日 (日)

松田はりきゅう治療院 松田 朗
1 月 18 日 (日)、石川県地場産業振興センターにて、鍼灸医療リスクマネジメント研修会が行われました。

今回は、午前の部では、石川県リハビリテーションセンター勤務の理学療法士 荒木茂先生により「高齢者の運動におけるリスク管理」の講義がありました。

終始、笑顔でお話をされる先生で、非常に好感を持ちました。さて、講義の内容ですが、年配者によく見られます、頭部前方姿勢と猫背ですが、頭部が重心から前方に 4 cm 傾いた姿勢ですと、脊柱起立筋の筋力は、重心位置よりも 3 倍の筋力が必要になるとの事で、背部には、非常に強いストレスが掛かっている事が分かりました。この様な姿勢にならない為には、座位では骨盤を立てた姿勢を保つことが良いとの事でした。



荒木 先生

午後の部では、北山クリニック院長の 北山 吉明先生により「発育期のスポーツ」の講義がありました。

子供の体の発育のしかたについて、小学校高学年までは、特に神経系（脳）が発達し、中学校時代では、心臓と肺が発達し、高校時代では筋肉が発達をするという事で、この発育時期に適切な刺激を与えると、能力がめきめきと伸びるそうです。という事は、中学校に入った段階で、すでに神経能力がほぼ決まってしまうという事で、小学校時代こそが大切だと知らされた講習会でした。



北山 先生

3 月 15 日（日）

うえのはり灸院 上野晃一

3 月 15 日（日）午前 10 時より、第 1 部のリスクマネジメント講習会「高校野球部トレーナー活動から学ぶこと」が行われました。

講師は当会の会員にして星稜高校野球部チーム帯同トレーナー、他にも各種団体で幅広く活躍中の田中良和先生が務められました。

スポーツトレーナーの沿革や現状、チーム帯同トレーナーとしての実際の活動報告や医師をはじめとするほかの医療者との連携の重要性について解説していただきました。

また、チーム関係者や選手の父兄の方々と円滑な関係を構築するのに注意すべき点など実に細やかなところまで丁寧に教えていただきました。

これからスポーツトレーナーとしてどこかのチームに帯同して活動しようと考えている先生方必聴の素晴らしい講習内容だったと思います。



田中 先生

第 2 部のリスクマネジメント講習会「鍼製造過程と安全性」は午後 1 時から行われました。

講師はセイリン（株）の山本悠介氏です。

安全で患者にやさしい鍼の製造のためにどのような点に気を付けどのような対策をしているのかを、映像や実物サンプルによる実演等でわかりやすく説明していただきました。

また実際に起こった折鍼事故の詳細な解説や、その防止のために気を付けた方がよいことなどもいろいろと教わりました。

私自身はセイリンの豪鍼は使用しておりません。

しかし鍼の品質チェックにおける着目点などを知ることができ、今後の臨床に大変役立つ講習内容だったと思います。



山本氏

4. その他の学術講習

松田はりきゅう治療院 松田 朗

去る 2 月 22 日午前 10 時より、石川県地場産業振興センターにて、学術講習会が行われました。

当日の講義は、栃木県鍼灸マッサージ師会副会長 植木均也先生により、「微弱電流理論と治療効果について」の講義でした。微弱電流とは、マイクロアンペアレベルという、体には全く感じない非常に弱い電流の事で、これを体内に流すことで、急性炎症性疾患や内科的疾患、神経系疾患などの疾病を素早く治すことを目的とした治療法との事です。

使用されました機器は、株式会社カナケンのバイオカナックスとバイオミニⅡという製品で、導子の冷却ジェルシートを介して体内に微弱刺激を与えます。

植木先生は、この刺激を奇経穴を使用して行っておられるとのことでした。

実際に実技で私も体験させていただきました。右下肢に痛だるさがあったのですが、15 分ほどの施術で痛だるさが少し軽減したように思いました。このような治療を知る良い機会となり、また一つ視野が広がりました。



植木先生



5. 会員の活動

まちスタ530火曜企画コーナー
元気のヒミツ!

「簡単なツボを覚えて お灸女子になろう」

3月10日放送 約16分

金沢ケーブルテレビに出演しました。最近のお灸女子をテーマに、経絡や経穴を簡単に紹介し、お灸のやり方として若い女性が好きな『アロマ灸』や『お花の香り』のお灸を紹介しました。

北国新聞文化センターで今年最初のお灸教室を1/28(水)に開催しました。

季節柄、鼻炎や花粉症について、経絡の話から始め、ツボにお灸して自分自身でセルフケアする方法を紹介しました。

いつも楽しい雰囲気です!



「鍼灸無料体験会」 此花公民館

10月26日(日)

長町鍼灸治療室 長町 洋治

公民館長さんからのご要請により、昨年同様、此花公民館の文化祭に合わせ、中村智彦総務部長と2名で鍼灸無料体験に参加いたしました。

午前11時過ぎから午後1時30分までの2時間半ほどの体験会でしたが、16名の方からのご要望がありました。今回は初体験の方が大半を占めていましたので、少しでも鍼灸治療啓蒙のお役に立てたならば大変ありがたいことです。

長年、無料体験会に協力参加させていただいておりますが、長寿社会となった今、脊椎管狭窄症、骨粗鬆症、頸椎・腰椎の変形、変形性膝関節症など、整形外科に通院しながらも症状の改善がみられず、辛い思いをされている方が増え続けているという現実を目の当たりにいたします。

石川県鍼灸師会にはこうした方々の悩みに真摯に耳を傾け、症状を理解し、鍼灸治療を症状の回復に役立てていくことが求められています。同時に、日常生活の生活動作、体操、運動の大切さを丁寧に指導することで納得していただき、日々の生活に少しでも希望を持っていただけるよう、共に協力する体制を構築していくことも今後は不可欠となるでしょう。

体験時間は10～20分ほどですが、治療終了後に時間に余裕があれば、症状が悪いほうへと進行してしまった原因や、今後どういった治療が有効であるかを説明します。わかりやすく的確に詳細をお伝えしていくことは、鍼灸治療への信頼にもつながっていくことでしょう。

スポーツ傷害専門領域における鍼灸治療は今では社会的にもかなり普及し、スポーツ

ドクターの方々からもその有効性が認められていることもあり、治療希望者は増加の傾向にあります。しかし一方で、無料体験会に参加してみると、問題を抱えた高齢者の方の多くが鍼灸体験の未経験者であることがわかり、まだまだ鍼灸の浸透が不十分であることを認めざるを得ません。このような方々のお話を聞いていると、病状が進行し歩行も思うようにできなくなると、徐々に気持ちが沈んでいくとのこと。中には生きる気力までも失ってしまったという方もおり、時折深刻な様子も垣間見えました。

鍼灸の技術は、ただ痛みを取り除くというだけのものではありません。今後は心身ともに問題を抱えたしまった人たちに寄り添い、心と身体を両面からサポートしていくことが私たち鍼灸師に課された課題ではないかと思っております。再び健康と活力を取り戻していただくために、我々は心と身体を正しい方向へと導くゲートキーパー(門番)としての役割を今後担っていくことが求められるのではないのでしょうか。

最後になりましたが、無料体験会に毎回、協力参加され、「鍼灸師の資質向上に役立ちたい」と熱く語る中村智彦総務部長に敬意を表します。



6. 忘年会

忘年会の様子です。

翌日のリスクマネジメント講習会の講師として来県された小松秀人先生を囲んで、和気あいあいとした雰囲気の中で行われました。



会員の山下達司先生の手品や松田朗先生の民謡などで大いに盛り上がり、非常に楽しかったです。



7. 親睦会

石鍼会餅つき大会

2月1日(日)10時 山崎先生宅にて、懇親会として餅つき大会が開かれました。

参加者は山崎、尾坂、寺本、大内、中村と松田(敬称略)の6名でした。

つき立てのお餅と、牡蠣やお肉など山海の珍味でバーベキューをして楽しいひと時を過ごしました。



8. 金沢マラソン鍼治療ボランティアについてのお願い

金沢マラソン 鍼治療ボランティアについて

平成 27 年 11 月 15 日（日）に行われる、金沢マラソンに石川県スポーツトレーナー連絡協議会（IST）がトレーナーブースを設けます。そこで、臨時総会で説明いたしましたが、当会会員の皆様にもご協力いただけるようになりました。

平成 27 年 5 月・7 月・9 月の土曜日夜（日程は未定）に、金沢マラソンに向けての研修会を行います。3 回の研修会に参加して頂き、

研修修了書を発行します。そのうえで、金沢マラソンボランティア参加者には活動証明書を発行します。治療院に飾っていただき患者様との交流の一つになると考えます。

会員皆様の研修会参加をお願いいたします。生涯研修の単位にもなります。

9. 図書紹介

免疫力は腸で決まる！

著者 辨野義己

実に面白い本だと感じました。たかだか 200 ページ足らずの中によくぞこんなにも不思議で意外な腸と、腸の働きが左右する人体について書き込めたものです。

大便と腸内細菌から始まり、腸の仕組みと進化、腸と脳、腸と免疫、腸の健康に効く生活や食べ物などなど、実に幅広く奥深く腸についての最新の情報が詰め込まれ、読中は息を継ぐ間もないくらいでした。

本書を読むと近年はどんどん西洋医学と東洋医学、近代医学と伝統医学の壁がなくなりつつあるように、強く感じます。

本書を片手に最先端の医療科学と鍼灸医療との対比や、近未来の医学の発展に思いを馳せるのはとても楽しい体験でした。

春の訪れを待ちながら、学術研鑽に励まれる会員の皆様の気分転換に、本書を強くお勧めいたします。

うえのはり灸院 上野 晃一



角川新書 2015 年 2 月 10 日 初版発行

あ と が き

いつまでも寒い日が続いていると思っているうちに、3月14日の北陸新幹線が開通し、その日以来、春のような陽気が続いています。

当会の新年度事業の一つですが、5月からリスクマネジメント専門領域研修会が始まります。会員の先生方には、積極的なご参加をお願いします。

研修会の目的は、学術研鑽です。激動する医療環境の中で、「質の高い鍼灸医療の提供」を常に可能とするためにとても重要です。それに、会員の先生方と学術情報の共有と鍼灸医療の連携を高める機会にもなります。

私は、開業をして丸10年目を迎えます。日々の臨床では、この診断でよかったのだろうか？このドーズでよかったのだろうか？一人での診療は、疑問と悩み多きものだと実感しています。それらを一つでも解決できる糸口が見つかればと思って研修会に参加をしています。必ず見つかります。それは講義の内容からであったり、会員の先生方が何気なく話されている内容からであったりします。お蔭様で臨床において孤独を感じずに済み、助かっております。また1年、日々の臨床に役立てられるよう耳をダンボにして参加をしようと思えます。

最後になりましたが、会報作成に当たり、原稿依頼に快く応じて下さいました会員の先生方に心からお礼を申し上げます。会報に関するご意見、ご感想など何かございましたら、広報部までお寄せください。今後とも、広報活動に温かいご理解とご協力のほど、編集委員一同、お願い申し上げます。

(富田)

発行 (公社) 石川県鍼灸師会

会長 定池 寿

〒920- 石川県金沢市戸水1丁目458フロイデ105号

TEL (0761) 24-0369

担当 広報普及部

編集部長

編集委員

富田あゆみ

定池 寿

中村智彦

大内康弘

・ 金谷由久

・ 上野晃一